

# 院内感染対ニュース

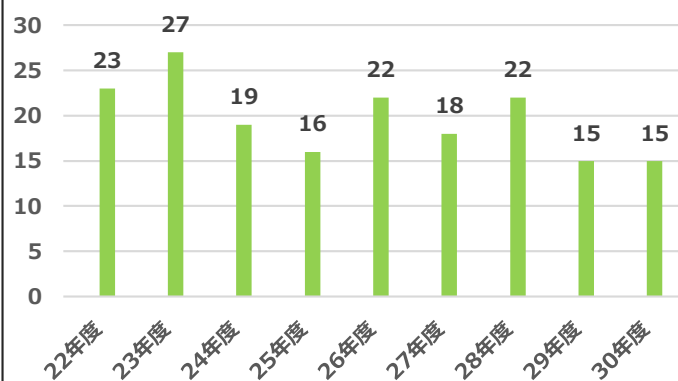
平成31年4月16日 第68号  
院内感染対策委員会

## 平成30年度 針刺し・血液・体液曝露事故発生報告

新年度が始まりました。昨年は【災害】の多い1年でした。今年度はどんな1年になるのでしょうか。さて、昨年度は針刺し・血液曝露事故発生件数を16件以内と目標値を設定していました。3月31日までに当院で発生した針刺し・血液曝露事故は15軒。何とか、目標値以内におさまりましたが、新採用職員や転勤などで新しい仲間が増えるとなれない職場環境や業務が煩雑となり思わぬ事故が起こりかねません。今年度も気を引き締めて針刺し事故対策を実施していただきたいと思います。

今回は30年度の針刺し・血液・体液曝露事故結果の報告をいたします。

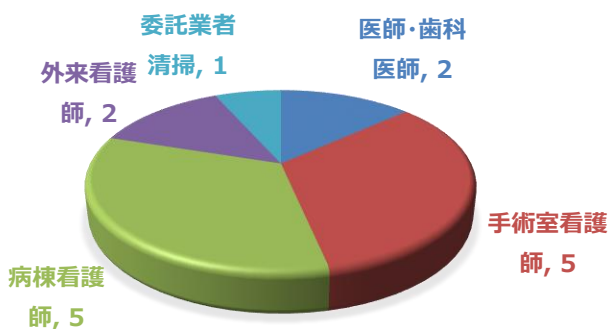
年度別 針刺し・血液体液曝露事故発生件数



昨年は年間事故発生件数を16件と目標値を設定し、結果として15件の針刺し・血液体液曝露事故が発生しました。22年以降、当院での針刺し事故は15件を下回ることがありません。しかし、23年度は27件もあった事故が徐々に減少しています（一時的に増加することはありましたが）。次年度は事故件数を15件以内と目標値を定めました。それよりぐっと少ないことを期待して、皆さんにも十分注意していただきたいと思います。



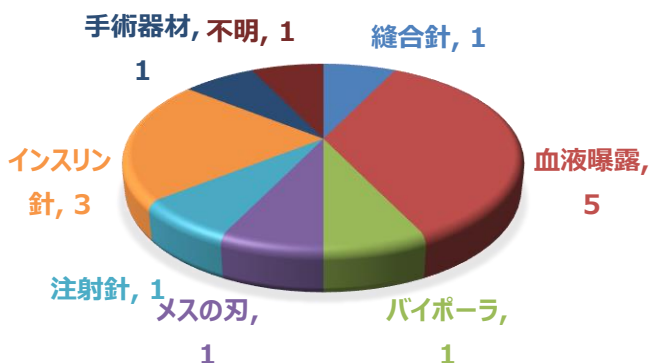
職種別 事故発生件数



職種別では看護師が12件と最も多く、医師も2件ありました。今年度の特徴として清掃の委託業者の針刺し事故がありました。これは廊下に落ちていたインスリン針に気づかず、ゴミと思い拾ったところ針が刺さったという事故でした。なぜ、針が落ちていたのか、原因不明ですがこのように針を使用する人が適切に廃棄しないと他の人が事故にあうことになります。十分注意して針は取り扱しましょう。



原因器材別 事故発生件数



今年度は血液・体液曝露事故が6件ありました。そのうち2件は吐血の曝露。手術に関連した器材での事故も複数件ありました。縫合後、針廃棄がされず片付け時に針が刺さった事故もありました。使用した人が必ず針を廃棄すること、片付ける人も針がついているかもしれないと注意しながら片づけして下さいね。

新年度が始まりました！今年も様々な話題と情報を提供できるようにがんばります。月1回ニュースを発行していきますのでお付き合いください。こんなことが知りたいということがあれば感染管理者にお知らせください。今年度もよろしく願います☆

